

地域の自立・活性化や国民生活に 欠かすことの出来ない主な取り組み

救急病院へ行く
生活道路の整備

深刻な渋滞対策

開かずの踏切
などの解消

交通事故の対策

学童の通学路整備

道路の維持や除雪、
古い橋の修繕

主要な都市間を結ぶ
国の基幹となる
ネットワークの整備

バリアフリーの整備

無電柱化

救急病院へ行く生活道路の整備

救急搬送に時間がかかり、都会では守れる生命も救えません。

(奈良県十津川村の例)

○救急搬送状況及び搬送時間



○救急車のすれ違いに支障



○搬送時間は救命救急に直結

- ・心停止 3分
 - ・呼吸停止 10分
 - ・出血多量 30分
- で死亡率50%以上となる

(H18救急年報報告より)

※十津川村資料を元に作成

開かざるの踏切などの解消

「開かざるの踏切」は全国に約600箇所、
「交通が集中する踏切」は全国に約800箇所
くるまや人を遮断し、街を分断しています。

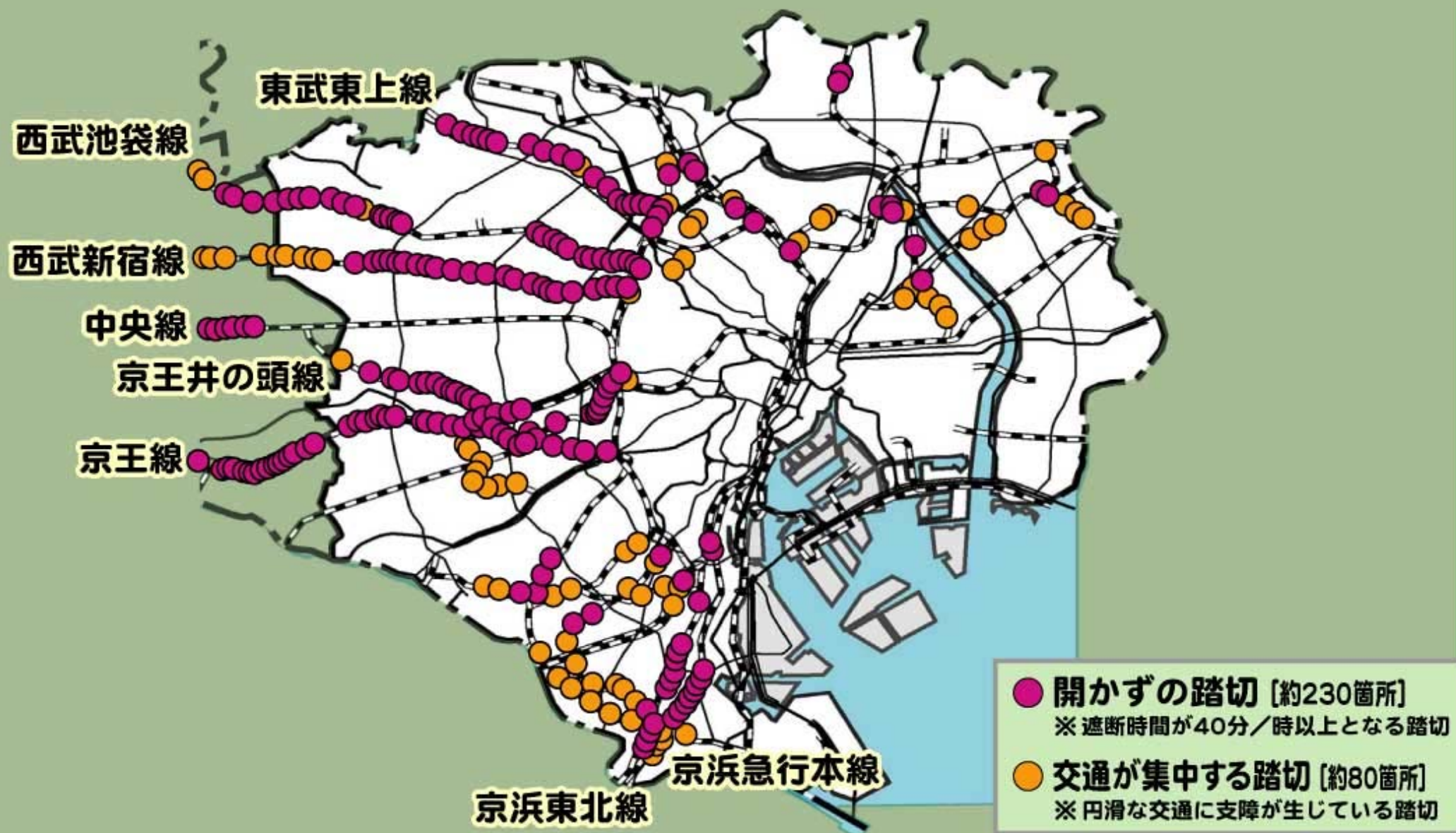
○救急車が通れない



開かざるの踏切とは遮断時間が40分/時以上となる踏切で
都内では1日に10時間程度、閉まっています。

※電車の運行本数が多い時間帯を対象

東京23区内の開かずの踏切などの現状



日本海沿岸東北自動車道

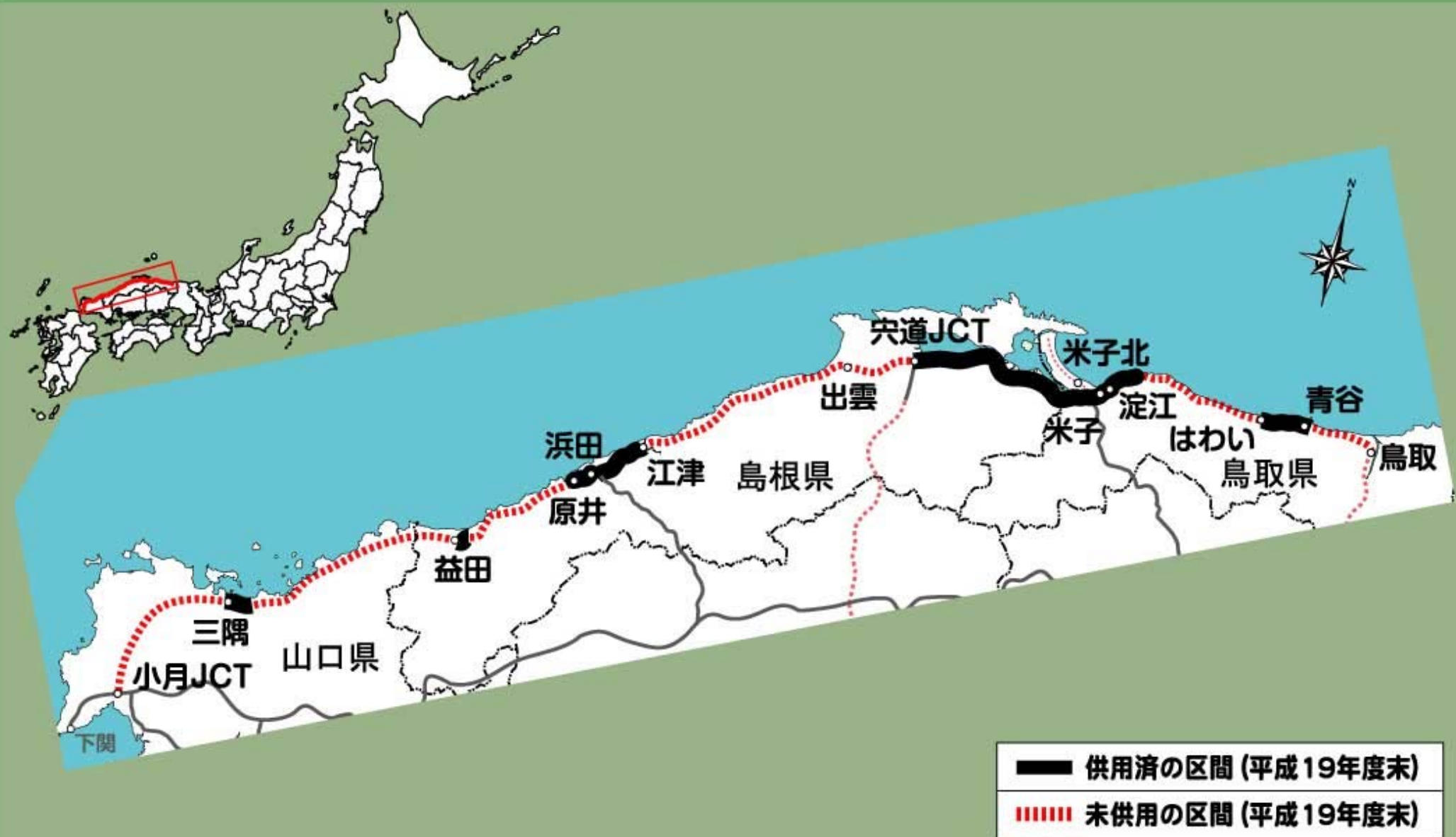


近畿自動車道 紀勢線(和歌山~多気)



時点:2007.11

山陰自動車道



— 供用済の区間 (平成19年度末)
..... 未供用の区間 (平成19年度末)

時点: 2007.11

東九州自動車道

